

「みその都市デザイン方針(素案)」に対する意見募集結果

2017年3月24日

※修正有→「○」 修正無(素案のまま)→「—」

該当箇所	意見内容	理由等	件数	考え方・対応(案)	修正有無
1 全般	方針も戦略もよく出来ていると思います。		1	—	—
2 全般	戦略を5つに分けて全体的によくまとまっている印象を受けました。		1	—	—
3 p5/戦略1全般	美園の街を「公共交通機関重視で環境にやさしいまち」と位置づけ、少なくとも来街者は公共交通機関の利用を促すまちであることをうたうとともに、そのベースとしてハード面(鉄道、道路等)、ソフト面(交通規制やまちづくり、住民のルール)に強く留意するまちとすることを明記してはいかがでしょうか。	「魅力ある美園」を考えた場合、イベント開催時の渋滞の放置は「魅力ない美園」につながる。21世紀を見据え、またすでに取組まれている環境オリエントな施策を考えると、また実質的には新住民は今後居住していくことを踏まえ、公共交通機関シフトを打ち出し、ハード、ソフト面でその取組みを下支えすることが「魅力」につながると思われるから。	1	公共交通を重視する考え方のもとで各戦略を構成しているところですが、ご指摘を踏まえ、そうした考え方を強調するために、p3都市デザインの方針において、公共交通を中心とした交通環境を形成していく旨を追加します。	○
4 p5/戦略1-1(1)・(3) 戦略1-3(1)・(2)	以下の下線部をそれぞれ追加する。 取組み方策:建物壁面の連続、建物色彩の協調、照明デザインの協調など 取組み方策:シンボルツリーの植樹、上質で統一感のあるポール照明設置など	都市環境において、人工照明によって創出される夜間の光環境は大きなウエイトを占めています。個々の店舗・建築物で好き勝手に照明を設置しては、雑多な空間となってしまう可能性があります。例えば「主として電球色を使用し、過剰な輝度や点滅する光源の使用を避け、落ち着いた雰囲気への創出に努める」といった指針を設けることが望ましいと考えます。	1	都市環境を形成する上で光環境は非常に重要だと認識しています。戦略4-1(3)取組み方策において、外構照明の配置誘導について明記していますが、ご指摘の箇所についても文言を追加します。	○
5 p5/戦略1-1(2)	デジタルサイネージは削除する。	デジタルサイネージは、それ自身が落ち着いた街の雰囲気にはふさわしくないとと思われると同時に、周囲に過剰・派手な照明や看板の誘発を招くことが懸念されます。逆に、規制する方向でご検討いただけませんか。	1	デジタルサイネージは、効果的な情報発信ツールとして活用を位置付けています。ご指摘のとおり、取組み推進にあつては、街の雰囲気の阻害要因や周辺環境への悪影響のないよう考慮してまいります。	—
6 p5/戦略1-1(3)、戦略1-2(2) p9/戦略3全般	浦和美園駅周辺をはじめとする本エリアにおいて、緑豊かで快適で、居住者だけでなく来街者も楽しめるような歩行環境(含:自転車走行環境)の整備をうたってははいかがでしょうか。取組み方策にも景観誘導だけではなく、街の中で回遊性を持たせた歩道や自転車専用道の整備を明記するべきではないでしょうか。	未来に向けたまちづくりであり、「健康」もテーマのまちであるにもかかわらず、「都市核軸」「拠点アクセス軸」をスロープで渡れる地点は1ヶ所もない。居住者の健康増進や快適な生活、観光(インバウンド)都市化のためにも、ウォーキングパスやサイクリングロードを周回状にさせることはこのまちにおけるまちづくりの骨格のひとつだと考えられるから。	1	歩行環境・自転車走行環境については、p3都市デザインの方針図にて各都市軸に形成していくことを示し、各戦略・取組み方策にも反映させておりますが、ご指摘を踏まえ、p3都市デザインの方針において、ネットワークを形成する旨を追加します。	○
7 p7/戦略2-2(3)	快適な歩行環境については、「参道と医療拠点」だけでなく、【戦略1-1(3)】でコメントした「歩行環境を連続させる」の項目に関連し、全体及び随所において配慮するものであることを明記したらいかがでしょうか。また、歩行環境だけでなく、自転車走行環境の文言も加えたらいかがでしょうか。取組み方策として、街の中で回遊性を持たせた歩道や自転車専用道の整備を明記するべきではないでしょうか。	【戦略1-1(3)】でコメントした「歩行環境を連続させる」にある、「健康」「観光」の理由に加え、イベント時に非常に歩行者が多いエリアにおいて、医療拠点への負担を軽減させるには当該エリアの環境整備が非常に大切と考えられるから。また、医療拠点とスポーツ拠点の融合による相乗効果が期待されることから、ハード面でも連携がしやすい環境を整えることが重要だと考えられるから。	1	また、ご指摘の内容は、具体的な空間整備方法やルート等を検討する際の参考とさせていただきます。特に綾瀬川・調節池への歩行環境整備は戦略3-1(1)及び3-2(1)に示しています。ご指摘を踏まえ、整備内容として自転車走行空間も今後検討してまいります。	○
8 p9/戦略3全般	綾瀬川や調節池をフックに、ここでも緑豊かで快適で、居住者だけでなく来街者も楽しめるような歩行環境(含:自転車走行環境)の整備をうたってははいかがでしょうか。街の中で回遊性を持たせた歩道や自転車専用道の整備を明記するべきではないでしょうか。	歩行者や自転車にやさしいまちづくりを目指しているにもかかわらず、4車線道路をスロープで渡れる地点は1ヶ所もないのは看板に偽りありと思われるもやむを得ない状況であり、コンセプトを発揮できるハード整備とする必要があるから。	1		○
9 p5/戦略1-2(1)	骨格軸として「デザイン方針軸」の「都市骨格軸」に描かれているように、「道路については2本の軸の形成」について、都市計画の見直しを含め整備について明言するべきではないでしょうか。取組み方策にも整備を明記するべきではないでしょうか。	「骨格」は極めて重要な背骨である。また、本エリアは西部に「東北自動車道・国道122号線」という“壁”が存在している。現状でも国道463号バイパスに車両が集中するという現状において、「美園1号線」や「美園2号線」による“壁”の貫通が街づくりのベースとして極めて重要と思われるから。	1	戦略1-2(2)取組み方策において、「区画整理地区外の美園1号線・2号線等の都市計画道路整備促進」と示しています。今後、市の関係部局と協議してまいります。	—
10 p5/戦略1-2(3)	市内の都心・副都心と美園地区を接続する交通環境を「構築」という必要があるのではないのでしょうか。また、取組み方策の中にも「地下鉄7号線延、東西交通大宮ルート(LRT、BRT等)整備」とし、「BRT」	「魅力ある美園」とするためにはアクセスの改善が必須であり、第一歩として「骨格軸」の発展が成否を大きく左右する。公共交通機関の利用にシフトするとともに、例えば「居住者3万人、観戦者6万人、商業施設	1	都心・副都心と美園地区を接続する交通環境については、現在も一部取組みが実施されていることを踏まえ、戦略1-2(3)の見出しを修正します。	○

	該当箇所	意見内容	理由等	件数	考え方・対応(案)	修文有無
		を加える一方、「推進」の文字を削除するべきではないでしょうか。バス優先レーン等は「バス専用レーン」などとしたらいかがでしょうか。	訪問者、大型医療施設訪問者が不快と感じないアクセス水準」にすることが非常に大切だと考えられるから。		東西交通大宮ルートについては、市の関係部局と協議した上で東西交通大宮ルート(LRT等)整備推進」と表記しています。また、バスレーンについては、優先レーン等の具体検討の中で専用レーンの可能性についても検討してまいります。	—
11	p5/戦略1-3	「入口を演出」から「街の空間を演出する」にしてはいかがでしょうか。単純に入口だけでなく、街の中も道路はもちろんのこと案内(サイン)などにより魅力ある街にすることをうたってはいかがでしょうか。取組み方策の中に「街のさまざまな空間に魅力を引き出す案内(サイン)や地図を設置する」ことを盛り込んだらいかがでしょうか。	まちの魅力のうち案内(サイン、含:地図)は、デジタル、アナログを問わず、重要な構成要素であると考えられるから。	1	入口以外の演出については、各戦略・方策にそれぞれ明記しています。案内サインについては、戦略1-1(2)取組み方策において、「駅を中心とした多言語対応の案内サイン設置」と示しており、駅以外の様々な場所で取組みことを想定しているところです。また、案内サインについては、地図による表示も含めて検討してまいります。	—
12	p5/戦略1-3	街の入口と都市核エリアの入口の違い、分けている理由がよく分かりません。		1	街の入口は、都市骨格軸を中心に美園地区の外から中へ入ってくる自動車・自転車を主な対象としています。都市核の入口は、来街者を中心とした歩行者を対象としています。	—
13	p7/戦略2全般	美園サッカータウンが、埼玉スタジアムをコアにまちづくりが進められることにより、さいたまにとって「世界への窓」の存在になること、来街者が楽しみを感じられるエリアとなることをうたったらどうでしょうか。取組み方策として、クオリティの高いスポーツと医療の融合、街中のWi-Fiの完備、マルチ言語表現のサイン(案内)、農業体験など「こと消費」への取組み、などを明記してはいかがでしょうか。	世界基準となる可能性のあるものが「スタジアム」「サッカー」「医療機関」とそろっていることから、「世界の観光ガイドブック」に紹介される潜在力のあるまちだと考えられるから。	1	戦略2リード文に「世界に誇れるサッカーの街・スタジアムの街」と示しています。Wi-Fi整備や多言語対応の案内サイン設置については、戦略1-1(2)取組み方策に示しています。スポーツと医療の融合や農業体験については、都市デザインに関連する要素は各戦略・取組み方策に明記しているところですが、ご指摘の内容は、美園スタジアムタウン憲章に基づく各種まちづくりを推進する際の参考とさせていただきます。	—
14	p7/戦略2-1(1)	まちづくりの極めて重要な前提条件であるアクセスについて、「世界に誇れる快適なサッカー観戦環境を整備し、まちのアイデンティティの強化につなげる」としてはいかがでしょうか。取組み方策については、「地下鉄7号線の車両基地に浦和美園駅の臨時駅を設置」「埼玉スタジアム等からの高速道へのアクセス(スマートインターの設置等)」「イベント時の交通規制の強化」などを追記してはいかがでしょうか。	美園サッカータウンは年間100万人の入場者が訪問者を迎えることが過去十数年の実績として残っているまちであり、また来街者は試合日に訪問が集中するため、試合日のアクセスは街の魅力に直結すると考えられるから。地下鉄7号線の延伸が決まり工事が始まるまでということを条件に現状(車両基地)をフル活用することは、スタジアムアクセスだけでなく、整備予定の医療機関へのアクセスにも非常にプラスとなると考えられる。スマートインターの設置(上り専用)により、特に都内へのアクセスが大幅向上することは、出場チームにとって非常にアドバンテージとなり、新国立競技場との比較においてもアクセスの不利な部分をかなり軽減させるものと考えられる。交通規制の強化は居住者や整備予定の医療機関との融合に資するほか、ハード整備のうえで、さらに公共交通機関重視の姿勢を示すという意味でも意味がある。	1	戦略2-1(1)は、「世界に誇れる」快適なサッカー観戦環境を形成することを趣旨としていますので、ご指摘を踏まえ、見出しの文言を修正します。取組み方策については、主に戦略1に示している交通環境形成方策に取組む上で関係機関と協議していく際の参考とさせていただきます。	○
15	p7/戦略2-1(2)	池の底面利用を検討していますが、それに加えて、景観シンボルとする意味でも、池に橋を架けて導線を創出することを取組み方策等に追加したらいかがでしょうか。	アクセスの多様化、将来の「参道」の利用、埼玉スタとあいまった景観の創出など様々な意味で、美園の価値を高めるものと思われるから。	1	戦略2-1(2)取組み方策に「歩行空間・多目的空間としての大門上池(大池)底面設え整備・維持管理」、戦略2方針図中に「大門上池底面を活用した歩行者動線の創出」を示しています。ご指摘の内容は、具体的な空間整備方法等を検討する際の参考とさせていただきます。	—
16	p7/戦略2-2(1)、戦略4-2(1)	小池都知事が進めている政策の一つであるが、無電中化を推進していくのはどうか。	古い街並みの無電中化はいまさらという感があるが、美園はまだまだこれからの街なので取り組んだら面白い	1	美園地区では、区画整理事業の中で都市計画道路や一部の区画道路において無電柱化を実施しています。そうした取組みを促進するため、ご指摘を踏まえ、該当する戦略・取組み方策に文言を追加します。	○

	該当箇所	意見内容	理由等	件数	考え方・対応(案)	修文有無
17	p7/戦略2-2(1)	「埼玉スタジアムへ向かう大勢のサポーターの通行に対応した歩行環境を整える」としているところを「埼玉スタジアムへ向かう大勢のサポーターの安全を維持した歩行環境を参道の創設とは別に確保するとともに、近隣の医療機関や学校の通行に悪影響が及ぼさないよう配慮した整備を行う」とするのはいかがでしょうか。試合時最大4万人の歩行者の通行において安全性が阻害されることがないようにするものです。本コメントは『戦略2「サッカー文化」のアクセス空間充実』の「歩行者専用道路」の項とも重複しています。取組み方針において、「歩行者専用道路と美園2号線の交差点にオーバーパスまたはアンダーパスを設置し従来の安全を確保する」の項を加えていただくのはいかがでしょうか。	“参道”の設置は「スタジアム城下町」における門前の賑わい創出として意義深い。だが、「浦和美園駅～スタジアム」において、従来利用していた歩行者専用道が「美園2号線」により寸断される一方、代替策は4車線道路である「美園2号線」を信号機を利用するなどして横断するという計画になっているとみられる。これは、歩行者の安全確保が極めて深刻な状況になる懸念を孕む計画であり、また将来設置予定の医療機関へのアクセス等にも悪影響を及ぼすことが強く懸念される。「美園2号線の4車線供用」が行われるのであれば、「歩行者専用道と美園2号線の交差点」にオーバーパスまたはアンダーパスを設置することが安全確保には最低限の条件であると考えられるため。	1	戦略4-1(2)取組み方針「サッカー試合日における居住者の安全で円滑な交通環境の形成」、戦略2-3(1)取組み方針に「安全かつ円滑な美園2号線の横断方法の確保」を示しており、ご指摘の内容は、具体的な整備内容等を検討する際の参考とさせていただきます。	—
18	p7/戦略2-3(1)	【戦略2-2(1)】の「美園のシンボルとなる”参道”をつくる」でコメントした通り、「歩行者専用道路と美園2号線の交差点における、オーバーパスまたはアンダーパスの整備」をうたってはいかがでしょうか。	【戦略2-2(1)】の「美園のシンボルとなる”参道”をつくる」でコメントした通り、現在確保されている安全水準を維持するための当然の措置と考えられるから。	1		—
19	p7/戦略2-3(2)	「大門中野田線への歩行者の流れの創設が必要なのか改めて検討する」という表現としてはいかがでしょうか。	従来のアクセス空間である歩行者専用道を動脈とすることが安全確保のうえでは最善と考えられるから。大門中野田線と2号線の交差点にスロープのオーバーパス等が設置される場合は、渋滞発生が明らか同交差点において安全確保をしたうえで、渋滞への悪影響も及ぼさないと考えられるため、大門中野田線を歩行者の動脈とするということとは考えられる。	1	大門中野田線は、拠点間を結ぶアクセス動線として位置付けています。スタジアムアクセス空間については、戦略2-3(1)(2)取組み方針のとおり、美園2号線横断方法確保などを勘案して今後検討してまいります。	—
20	p9/戦略3-2(1) p7/戦略2-1(2)	調節池活用する。	グランドゴルフ、子供サッカー場、体を動かせる場所 駐車場も必要、バーベキュー場 →特区を利用する 桜を植樹、花を育てる	1	戦略3-2に調節池の活用を明記しています。ご指摘の内容は、具体的な活用方法を検討する際の参考とさせていただきます。	—
21	p9/戦略3全般	健康都市として、各所に歩道から視力検査や加齢黄斑変性の簡易検査ができるとおもしろいと思います。		1	戦略3-2(3)取組み方針に「公園やオープンスペースへの健康器具・遊具の設置」を示しています。ご指摘の内容は、具体的内容を今後検討する際の参考にさせていただきます。	—
22	p11/戦略4全般	「訪問者を快適に楽しませる」とことと「居住者が安心安全に暮らす」ことの融合を図ることをうたってはいかがでしょうか。イベント時における歓声や交通渋滞の発生を理解されるよう告知、啓発する仕組みを導入することをうたってはいかがでしょうか。	「スタジアム城下町」といってもいい「美園スタジアムタウン」において、「埼玉スタジアムが迷惑施設となるようなまちづくり」になってはいけなかと考えられるが、新たな居住者がイベント開催時の歓声や渋滞をあらかじめ理解したり、居住者全体が安心安全な居住環境に取り組む意識をもつことが大切と考えられるから。	1	戦略4-1(2)取組み方針に「サッカー試合日における居住者の安全で円滑な交通環境の形成」を示しており、ご指摘の内容を方針の一環として取り組んでまいります。	—
23	p11/戦略4全般	戦略4では、内容が混同されています。4-1では安全・安心を、4-2では快適さ・美しさを、4-3はネットワーク化、モデル化、伝統の継承を追加するなど整理してみたいはいかがでしょうか？		1	戦略4-1は、安心・安全・快適さに関する内容、戦略4-2は、美園の特性を生かした居住環境の形成に関する内容となっております。	—
24	p11/戦略4全般	安心安全・快適な居住ネットワークをつくるということであれば、「歩行喫煙の禁止」「屋外受動喫煙を防ぐ」という項目を盛り込んでください。駅前やイオン周辺、小学校周辺での屋外喫煙を全面的に禁止し罰則化することをお願いします。タバコの煙を吸いたくない、吸わせたくない人（とくに子どもや妊産婦）を守る街づくりを行っていただきたいです。	1. 日本小児科学会では「子どもをタバコの害から守る」提言を行っています。また日本小児科学会を含む医療系25団体からなる禁煙推進学術ネットワークに、受動喫煙の被害をまとめています。小学校付近や子どもの周りで喫煙をさせない街であって欲しいと切に願っています。 2. IOCは「たばこのない五輪」をスローガンにあげています。埼玉スタが2020年東京オリンピック・パラリンピックのサッカー会場であるにも関わらず、現在は、駅周辺や埼玉スタ周辺で当たり前のように歩行喫煙や屋外喫煙が行われており、恥ずかしい街として「美園」が世界に発信されることを一住民として懸念しています。 3. 浦和レッズのサポーターミーティングでも、少なからず喫煙マナーに関しては問題になっております。浦和レッズとはしっかり情報共有しながら街づくりを進めていただきたいです。	1	戦略4-1(1)取組み方針に「公共施設外周部等道路内への歩行空間確保、歩行拠点形成」と示しており、路上喫煙の禁止の取組みも含まれると想定しているところですが、ご指摘を踏まえて文言を追加します。	○

	該当箇所	意見内容	理由等	件数	考え方・対応(案)	修文有無
25	p11/戦略4-1(1)	<p>取組み方策「夜でも安心して歩ける照明整備」を下記のような表現にする。</p> <p>(案1)安心・安全と省エネ・自然環境保全を両立した照明整備</p> <p>(案2)省エネや周辺環境に配慮しつつ、夜でも安心して歩ける照明の整備</p>	<p>原案の文章ですと、一般の方は「明るいほど安心感が得られる」との先入観から、必要以上の明るさを求める可能性があります。必要以上の明るさは、安全性の向上に何ら役立たないだけでなく、エネルギーの浪費やさまざまな光害(動植物への悪影響、周辺住民への迷惑光、夜空の明るさの増加など)をもたらします。</p> <p>さいたま市環境条例第105条にも定められていますが、屋外照明を設置する際には、周辺環境に配慮した適切な照明器具を選定し、光害を発生させないよう十分な措置が講じられるべきです。このことを示すため、上記のような表現が望ましいと考えます。</p>	1	都市環境を形成する上で光環境は非常に重要だと認識しています。ご指摘を踏まえ、文言を修正します。	○
26	p11/戦略4-1(2)	自転車貸出	<p>西口でスタートすべき 東口は賑わっている</p> <p>東口から西口へ上り坂になっている</p> <p>西口活性化</p>	1	p11戦略4-1(2)において「歩行環境を補完する低炭素型の地区内交通環境の整備」を示しており、自転車のシェアリングに関する取組みも想定しています。ご指摘を踏まえ、取組み方策の内容を追加します。また、ご指摘の内容は、具体的な設置場所等を検討する際の参考とさせていただきます。	○
27	p11/戦略4-2(4)	環境都市として見沼田圃を取り込むことが希望としてあり、見沼田圃の桜は日本一かもしれない。周遊コースがあるといい。		1	p3都市デザインの方針において、見沼田圃や綾瀬川水系につながるみどりの回廊の形成を掲げています。戦略4-2(2)において、見沼田圃の緑と風について言及していますが、ご指摘を踏まえ、桜について文言を追加します。	○
28	全般	<p>方向と距離表示をしてみてもどうか。</p> <p>例:綾瀬川;東京湾まで○km、美園駅:東京駅まで○km、公園:各公園までの方向と距離表示など</p>		1	案内サインについては、戦略1-1(2)取組み方策において、「駅を中心とした多言語対応の案内サイン設置」と示しており、駅以外の様々な場所で取組みことを想定しています。ご指摘の内容は、具体的な設置箇所や表示方法を検討する際の参考とさせていただきます。	—
29	全般	名所めぐりのチラシを作成する。	<p>西:見沼田んぼ(桜がきれい)</p> <p>東:釣上神明社(国指定無形文化財 子供土俵入り)</p> <p>4~5月に綾瀬川に鯉がいっぱい上ってくる</p> <p>用水では魚釣り(フナ・コイ・ザリガニ・カエル他)</p>	1	p3都市デザインの方針において、見沼田圃や綾瀬川水系につながるみどりの回廊の形成を掲げています。また、p7戦略1-1(2)において、駅を中心とした案内サイン設置も示しております。ご指摘については、今後の取組み推進の参考とさせていただきます。	—